

発言通告書の要旨(一般質問)

令和4年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/7 (水)	1	9 石井勢三	1、「足こぎ車いす」について	<p>民間のテレビ放送で、歩行困難な人が自分の足でペダルをこぐ「足こぎ車いす」を視聴した。足の不自由な人が、自力でペダルをこぐ不思議なペダル付き車いす。その後メーカーに訪問し、その機能について説明、体験をした。歩行困難な方、もう自力で歩くことをあきらめていた人に明るい希望を与えることのできる「足こぎ車いす」の導入について伺う。</p> <p>(1)「足こぎ車いす」試乗体験のイベントの実施について (2)病院・介護施設でリハビリ用として導入の検討について</p>
	2	3 瀧本哲史	1、学童保育について	現在、学童保育が三豊市内に18カ所ある。現状の問題点や今後の課題についてお伺いする。
			2、まちづくり推進隊について	詫間町で、まちづくり推進隊が創設されて11年目になる。それ以後、三豊市の各町ごとにNPO法人としてまちづくり推進隊が創設され、さまざまな事業に取り組んでいるが、現状の問題点や今後の課題についてお伺いする。
	3	4 三谷正史	1、コミュニティバスの路線変更について	近所の高齢の1人暮らしの方より。以前はコミュニティバスが走っていたが、なくなった。毎日じゃなくていいから、週に1、2日でもいいからどうにかできないか、との問い合わせあり。路線変更は難しいのか。
			2、小中学生への出前授業開設について	いわゆる出前授業を企業や市議会が小中学校で開催している自治体が結構ある。教育委員会、議会の同意があって可能な話である。三豊市の最大の課題は人口減少だと思う。次の世代を担う小中学生に三豊市の魅力、歴史を紹介し、将来は三豊市に住みたいと思えるような授業をやってはどうか。教育委員会の見解は。
			3、英語教育について	三豊市も技能実習生を中心に東南アジアからの方が随分と住んでいる。地元住民とのコミュニケーション不足でなかなか地域に溶け込めていないのではないか、と思う。小中学生には既にALTを活用した授業もあるが、もう少し日常会話に役立つような英会話授業も必要ではないか。社会人にもジャパニーズイングリッシュでいいから会話ができるような英語(会話)講座のようなものが必要ではないか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和4年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/7 (水)	4	10 近藤 武	1、農業振興対策・食料安全保障について	円安などによる食品や飼料、肥料等の高騰に対する市の見解について聞く。
			2、森林管理の多様性に向けて持続可能な自伐型林業の推進について	森林の整備で多面的機能の推進だけでなく、どのようにまちづくりに生かしていくか、いかに持続可能な森をつくっていくのか考えを聞く。
			3、道路・公園包括的民間委託に向けて	老朽化が進む道路・公園などのインフラ、担い手不足が深刻な建設業界や市職員の状況を改善するために、将来を見据えたインフラ整備を進めるため、包括的民間委託に向けての考えを聞く。
			4、子どもの教育について	子どもの教育について、欧米人と比べ日本人の自己肯定感が低いことなど、幼児教育と非認知能力の重要性について聞く。
			5、金融教育について	日本の学校においては、お金の教育が不十分であると言われている。学校教育においてもっと積極的にお金に関する教育に取り組んでほしいと感じている人は多くなっている。小学生などのできるだけ早いうちからお金に関する教育を行うことが大切であると考えているが、考えを聞く。
	5	6 湯口 新	1、本庁舎周辺整備について	第2次総合計画とランドデザインにおける本庁舎周辺整備の進捗状況について聞く。
			2、宝山湖ボールパーク構想について	10月24日開催の教育民生常任委員会において、宝山湖公園の管理における当面の指定管理者制度の断念が報告された。宝山湖ボールパーク構想の現状とこれからのことについて丁寧な説明を求める。
			3、引っ越し専用窓口の設置について	人口減少を食い止めるためには、市民が出て行かず、市外からは引っ越して来てもらう政策が必要である。そのために引っ越し専用相談窓口を開設してはどうか伺う。
			4、教育的観点から見たキャンプの活用について	防災キャンプ推進のための意見交換会の場で、四国学院大学の清水教授から「今の子どもたちは有事の際の危機回避能力や避難能力が低下しており、キャンプなどの経験や体験が必要である」という話を聞いた。県のキャンプ協会も非常に協力的であり、四国学院大学とは包括的連携・協力に関する協定を結んでいる。大学やキャンプ協会のお力をお借りして、子どもたちの「生きる力」を伸ばすためにキャンプを活用してはどうか伺う。

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/8 (木)	6	16 込山文吉	1、地域総合型スポーツクラブについて	<p>スポーツ庁・文化庁は、部活動の地域移行に向けた支援事業を立ち上げた。経済産業省も、地域スポーツクラブの可能性を考える、「未来の部活」ビジョンを発表した。</p> <p>(1) スポーツ指導員募集は、中学校における部活動指導員の配置支援事業を活用するのか。指導員に対する講習についての考えも聞く。</p> <p>(2) 地域における新たなスポーツ環境の構築等として、モデル創出を実施する。活用できないか。</p> <p>(3) 部活動の地域移行に向け、コーディネーター配置を支援する。活用するべきではないか。</p>
			2、JR高瀬駅トイレの改修について	<p>国土交通省「都市構造再編集中支援事業」の活用について</p> <p>(1) 都市機能誘導区域に高瀬駅を含む市役所周辺が含まれており、都市構造再編集中支援事業として、高瀬駅トイレ改修も補助が受けられる。活用への考えを聞く。</p> <p>(2) 都市構造再編集中支援事業の活用には、都市再生整備計画の策定が必要である。都市機能誘導区域に含まれていることは承知しているが、都市再生整備計画の策定の考えを聞く。</p>
			3、離島振興について	<p>(1) 瀬戸内国際芸術祭が終了した。総括と今後の展望を聞く。</p> <p>(2) 離島振興法が改正・延長された。インターネットを活用した遠隔医療の充実が明記され、「関係人口」につながる離島留学を推進し、オンライン事業やテレワークを念頭に通信インフラの維持管理の配慮も記載された。栗島・志々島への光ファイバー整備についての考えを聞く。併せて、志々島港待合室とトイレ新設の考えを聞く。</p>
	7	18 横山 強	1、令和3年度決算の一般会計支出等の無駄遣いと讃岐造船跡地の無駄遣いと、今後の讃岐造船跡地利用等について	<p>(1) 市長の出張と同行した職員の行動の不透明な問題点等を広範囲に伺う。</p> <p>(2) 各課が顧問弁護士に82件の相談に対する問題点等を、市長及び各部長に広範囲に伺う。</p> <p>(3) これまでの弁護士の顧問料と、決算額の説明による顧問料の支出についての問題点等を広範囲に伺う。</p> <p>(4) 市民病院の運営に必要として採用した再任用職員等の問題点と無駄遣いについて広範囲に伺う。</p> <p>(5) 先般9月の一般質問に対し、副市長が讃岐造船売買契約書等の答弁に対し、広範囲に伺う。</p> <p>(6) 讃岐造船跡地の計画により市民の税金の無駄遣いが先般9月の市長答弁で明確に示された結果において、3回連続関わった副市長、水族館事業と売買契約書に関わった当時担当課長補佐(現部長)ドック解体事業の見積もりに関わった課長に対し、返還について広範囲に伺う。</p> <p>(7) 市長答弁で、質問者に対し、讃岐造船跡地利用計画の提案を受け入れとした事業に向けた今後の方向性や完成日等を広範囲に伺う。</p>

発言通告書の要旨(一般質問)

令和4年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/8 (木)	8	8 市川洋介	1、三豊市役所周辺、高瀬駅の今後の整備、国道11号線拡幅について	(1) 三豊市役所庁舎周辺の今後の展開 (2) 三豊市役所の玄関である高瀬駅の今後の展開 (3) 高瀬駅のトイレ、自転車置き場 (4) 国道11号線の鳥坂～豊中間の拡幅の国への働きかけ
			2、まちづくり推進隊の今後の展望について	(1) 推進隊の現状について (2) 推進隊に関わる市民の比率と費用 (3) 推進隊の統合について (4) 教育委員会生涯学習課所管の公民館事業との関係
			3、新型コロナウイルス感染症、急激な円安における三豊市独自の市民に対する対策について	(1) 三豊市におけるの基幹産業である農業の家畜産業における三豊市独自の補助 (2) 為替の不安定化における三豊市市民に対するの施策
			4、災害における防災教育について	災害における防災教育の三豊市の展望
	9	7 田中達也	1、レジ袋の代わりに「指定ごみ袋」を販売する取り組みについて	2020年7月、小売業におけるプラスチックごみの削減を目指し、レジ袋が有料になった。しかし、レジ袋は環境を害する悪役とは限らず、家庭のごみ箱やキッチンで再度活躍するものであったため、代替品の購入が発生するなど、課題が残っている。 商店がレジ袋の代わりに市の指定ごみ袋を販売することで、弊害を解消することができるかと考えるが、導入の考えはあるか。
			2、公共施設のインターネット予約導入について	今後、機能集約、複合施設化を進めていく公共施設は、これまで利用者が予約なく使っていた状況から、限られた施設を効率的にシェアするスタイルに変わることとなる。 利用者の理解を得るためには、行事日程をスムーズに決定できるよう、空き状況の確認、予約・キャンセルを即座に実施できる仕組みを整備する必要があると考える。 インターネット予約システムの導入について、多くのスポーツ・文化施設を所管する教育委員会に尋ねる。
			3、AI型教材Qubenaの利用状況改善について	三豊市の小中学校では、デジタル教材によるアダプティブラーニング推進の名目で「Qubena」を導入しているが、2022年5月時点で、日常的に使用している学級の割合が45%とのことである。Qubenaの利用費とより詳しい利用状況、現状の課題と改善策について伺う。
			4、市が主催する説明会等のアーカイブ動画の活用について	市が主催する施策等の説明会は、案内がもれなく行き渡っているとは言い難い上、日程が合わずに参加できない市民への配慮がなされていないとも言えない。 今後開催する説明会等には、必ずインターネットを通じてアーカイブ動画を提供することとしてはいかがか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和4年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/8 (木)	10	1 西山彰人	1、地球温暖化対策について	地球温暖化による、異常気象など地球は危機的状態だと思うが、その対策特に市民への対応について。
			2、開発行為など県の許認可に対する三豊市の対応について	産業廃棄物の処理場、太陽光発電の開発行為などの香川県の許認可に対する三豊市の対応について。
12/9 (金)	11	13 丸戸研二	1、10年後、三豊市農業の行く末	(1)現状 三豊市農業振興計画後期計画も残り3年となった。 これまでの7年間で、どう目標に近づき、また達成できたのか。 (2)10年後への展望 2020農業センサスの状況を踏まえて10年後をどう見るのか。 特に、農業従事者の年齢から見て、今後どのような現実が訪れるのか。 (3)課題とその克服策 現計画での認識 ・農業を基幹産業と位置付ける。 ・持続的な発展を目指す。 次の10年に向けた取り組みを始める必要がありはしないか。
			2、いじめ・不登校のない三豊市を目指して	(1)県内でのいじめ・不登校の現状 2021年度の「児童生徒の問題行動・不登校調査」から (2)三豊市の状況 令和3年度の不登校の実態 (3)対策 根絶するためには、何が足りなくて何が必要なのか。 今後どう動くのか。
	12	5 金子辰男	1、物価高騰と市民生活について	コロナ禍の長期化による物価高騰に直面する生活困窮者等への支援について伺う。ガス、電気料金の値上げ、食料品も軒並み値上げされている。生活必需品の値上げが家計を直撃している。住民からは、不安の声が聞こえる。このような時にこそ、よりきめ細やかな対応が求められる。原油価格などによる物価高騰等緊急対策、孤独孤立対策はないのか。地方交付税措置など市民に分かりやすい説明を聞く。
2、道路不具合通報システム、道路損傷通報システムについて			道路にできた穴、破損したカーブミラー、外れそうになった側溝の蓋など、修繕が必要となっている道路の不具合など、公共の道路にまつわるトラブルに気づいた時、発見した時に市民によるスマホアプリなどで通報してもらおうシステム。先進地事例としては迅速な補修工事が多くでき、利用した市民からも行政にすぐ届く感じが凄いと、いった声が出ている。三豊市も導入しないのか伺う。	

発言通告書の要旨(一般質問)

令和4年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/9 (金)	13	15 水本真奈美	1、養育費確保支援について	子どもの養育費を受け取れないひとり親家庭の貧困を防ぐため、養育費確保支援について取り組む考えを伺う。
			2、子宮頸がんワクチンについて	現在、定期接種となっている子宮頸がんワクチンは2価と4価のワクチンであるが、これらのワクチンよりも高い感染予防効果があるとされる9価の子宮頸がんワクチンについて、厚労省は来年4月から定期接種対象とする方針を発表した。9価子宮頸がんワクチン定期接種化に伴う本市の対応を伺う。
			3、避難所運営について	(1)大規模災害時の避難所開設の初期対応策を簡潔に記した指示カードと開設に必要な道具や避難者向けの掲示物を入れたF・M・B(ファーストミッションボックス)を利用した避難所運営訓練について (2)ペット同行避難訓練及び避難所運営について伺う。
			4、ヤングケアラーへの支援について	(1)ヤングケアラーの実態調査と理解促進の取り組み (2)早期発見と相談窓口の取り組み (3)福祉・教育との連携支援体制について伺う。
	14	12 岩田秀樹	1、物価高騰から暮らしを守るための緊急対策を	物価高騰から市民生活を守るためには、(1)円安の進行を止める(2)エネルギーと食料の自給率の向上(3)最低賃金の引き上げが求められる。物価の高騰は低所得の人々を直撃している。市ですぐにできる課題は、限られるがエネルギーと食料の自給に対する対策はどうなっているか。
			2、豊中地区小学校統廃合計画について	豊中地区小学校統廃合計画に対して、住民の意見・子どもの意見はどのように反映されているのか。今からでも、全自治会での説明会開催を。
			3、コミュニティバスの通学バス活用についての検討結果について	地域の交通は、高齢者の移動確保だけでなく、まちづくり、児童生徒の通学保障と安全対策、地域コミュニティーづくりなどあらゆる人たちの地域課題であるにもかかわらず、三豊市は、住民の視点でなく行政の視点による縦割りで話を進めているのではないか。
			4、ギガスクール構想のタブレット1人1台の令和5年からの本格運用後の基金積み立てについて	1人1台の端末の整備、ネットワーク環境の整備、通信機器の整備を国の補助金で行ってきた。5億円を超える整備費が5年以後に発生する。基金を積み準備する予定はないのか。

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/9 (金)	15	2 三木秀樹	<p>1、避けて通れない「我々の責務」(今年度の施政方針より)とした温室効果ガス排出ゼロに向けた市独自の方針を聞く</p>	<p>(1) 大量にCO₂を排出している大都会と、排出より「吸収している量」の多い地方が同じような画一的に排出ゼロに取り組むべきでなく、冷静に「現状を分析し、目標から逆算」して計画を立てて取り組むと宣言してきたが、その進捗状況を聞く。 (2) 三豊市は「排出より酸素を供給する(森林)」が多いと思うが、国は三豊市レベルの野山では「効果ガスCO₂を吸収しているエリア」とは認めていないと聞く。その点を、どのように分析し、2030年に向けた自前の「方針」に俯瞰しようとしているのか。</p>
			<p>2、EM菌を活用しての環境美化活動は、ニセ科学との声を聞くが、当局の見解は</p>	<p>二十数年前から、EM菌ぼかし、EM菌を使つての河川の浄化、生ごみのリサイクル等に活用されてきたが、以前からEM菌の効能は聞くが、科学的根拠(エビデンス)は知らされていなかった。環境の教材としてEM菌の活用はニセ科学であり、教育に使うのは不相当である(山形大学准教授2015年)、また国会では2016年環境大臣からも「水質浄化に効果があるとの科学的検証データは承知していない」と発言されているが、EM菌の開発者は「放射能を浄化する」「EMは神様・・・」と言いつつ、「国会議員の支援拡大」(EM議連2013年発足)等の活動を展開していることを、当局は知って「援助」をしているのか。</p>
			<p>3、保育所における職員の「休憩時間」の確保について伺う</p>	<p>働き方改革を持ち出すまでもなく、保育士の一人一人、十分な「休憩」時間を与えなければならないことは、市の条例にも、労基法にも「明記されてきた」。 今日その実情に現場から「不満」の声が有ることから、改善に向け努力されていると聞いている。どう改善されたのか。その成果も併せて聞く。</p>